

阪南大学 2023 年度事業計画実施報告 外部評価報告書

評価実施日：2024 年 8 月 29 日

評価項目：学生支援 学生の受け入れ 学園運営

評価実施外部団体：株式会社セブン&アイ・クリエイトリック

評価者所属：セブンパーク天美 支配人

氏名：秋本 和宏

2023 年度事業計画実施報告の外部評価を実施した結果、以下の通り報告します。

【総評】

同学園は 2020 年度からの中期 5 か年計画において「学園をあげて、社会環境変化に対応するために、Society5.0 社会到来に向けた教育の基盤を作る」というビジョンを掲げられ、2023 年度事業計画においては環境変化に対応するための学部再編・新学部設置の準備を進めながらも基本方針である実学教育を重視し、より魅力ある学園運営に取り組まれている。

特に 18 歳人口の減少とともに、来るべき時代において社会が求める人材のニーズに大きな変化が見込まれる中、教育の質の向上をはかり、能動的学修の推進やキャリア教育・資格取得制度の充実をはかることで、主体的に社会で活躍できる人材の育成に力を入れられている。また多様な学生への対応に力を入れられ、学生相談室の体制の整備や、各種支援策の充実をはかりながら、離学率の削減に努められていることは、評価できる。

さらに今年度は広報動画サイト「Beyond the Challenge～挑戦者たちの、現在地～」の訴求とともに阪南大学ブランドの確立にも力を入れられ、各種説明会やイベントに積極的に参画しての PR に取り組み、入学定員の充足に力を入れられていることが窺える。

今後もより変化するニーズに対応しながら、学生一人一人の期待に応えるとともに、保護者や様々なステークホルダーの期待に応える学園運営を継続してもらいたい。

【各評価項目】

各評価項目は別紙を参照

以上

2023 年度事業計画実施報告 外部評価票

評価者:セブン&アイ・クリエイトリンク

評価項目	2023 年度事業計画（外部評価対象項目）
A-1	<p>学生支援活動に向けた取組</p> <p>(1) 修学に関する支援・充実</p> <p>(2) 学生生活に関する支援・充実</p> <p>(3) 就職に関する支援・充実</p> <p>(4) 卒業生との連携</p> <p>(5) 保護者との連携</p>
評価点 (5段階: 5が最高 点、1が最 低点)	5 · 4 · 3 · 2 · 1
評価概評	<p>(1) 修学に関する支援・充実については、様々な学生のニーズに対応すべく、カリキュラムの充実が図られ、特に入学前教育や離学者を抑制するための取組みなど学習意欲向上に向けたフォロー体制が充実していることは評価できる。一方目標に対して未達のものが見られ、その原因を把握しての改善及び新たな取組みへの転換など今後望まれる。</p> <p>(2) 学生生活に関する支援・充実については、課外活動の支援や学生相談室体制、国際交流等の支援などコロナ5類への引き下げたことも合わせ目標通りに実施されてことは評価できる。</p> <p>(3) 就職に関する支援・充実については、就職支援体制の強化において、就職率が目標を達成する見込みであることから評価できるが、資格取得の支援においてコロナの影響があったと想定されるものの、講座によって開催を見送るものが発生するなど、企業側の求めるニーズと学生のニーズの分析を進め、取組みの転換など今後望まれる。</p> <p>(4) 卒業生との連携については同窓会との情報交換は開催されているものの、卒業生向け事業の拡充といった目標に向けての取組みに対して具体的な取組みが見えないことから原因分析及び具体的な改善をはかっていただきたい。</p> <p>(5) 保護者との連携についてはポータルサイトやSNSを活用したコミュニケーションツールを強化したことや実施した大学体験フェアの満足度は高く評価できる。課題のログイン率は周知することで改善をはかれる部分が多く、継続的に取り組んでもらいたい。</p>

	<p>学生支援活動の取組み（卒業生・保護者含む）においては一つ一つきめ細かに対応されていることで中身の充実がはかられている。一方取組み自体の目標達成度については課題も多く、施策の周知に課題があるのか、学生やその他のステークホルダーのニーズとの乖離があるのかなど課題分析を進め、より発展的な取組みが実施されることを期待する。</p>
--	---

- ・各評価項目の取組みについて、取組みの状況、結果、課題等を客観的に評価してください。
- ・評価項目は5段階評価点と評価の概評を記載願います。

2023 年度事業計画実施報告 外部評価票

評価者:セブン&アイ・クリエイトリンク

評価項目	2023 年度事業計画（外部評価対象項目）
A-2	学生受入、広報活動の充実に向けた取組 (1) アドミッション・ポリシーに基づく多様な入学試験の実施 (2) 大学広報機能の充実
評価点 (5段階: 5が最高 点、1が最 低点)	5 . 4 . 3 . 2 . 1
評価概評	<p>(1) アドミッション・ポリシーに基づく多様な入学試験の実施については、受験生や高校側のニーズに変化が出ている中で、総合型選抜入試の拡充や、指定校推薦入試の依頼枠の見直しが図られていることで、専願制入試が微減であるものの、併願入試は前年比増加するなど一定の効果を上げたものと推測される。またオープンキャンスの取組みや高大連携の取組み留学生受入制度においては大学側からの主体的な働きかけが定員の充足に向けて寄与しており、効果も上げている。</p> <p>(2) 大学広報機能の充実については阪南大学ブランドPJチームによる取組みが中長期的な視点で取り組まれており、ネット広告など一定の効果を上げていると推察される。今後は評価指標を明確にし、マーケティング的な視点での取組みを充足させることで、ブランド確立に向けて寄与するもと期待する。</p> <p>少子化による学生数の減少が一層進む状況下において学生受入れ・広報機能の充実は一層の施策の充足が必要であると推察され、より評価指標を明確にした目標値を設定し、具体的な取組みを実行することでの志願者数、オープンキャンパス参加人数等の増加につながると期待する。</p>

- ・各評価項目の取組みについて、取組みの状況、結果、課題等を客観的に評価してください。
- ・評価項目は5段階評価点と評価の概評を記載願います。

2023 年度事業計画実施報告 外部評価票

評価者:セブン&アイ・クリエイトリンク

評価項目	2023 年度事業計画（外部評価対象項目）
A-3	<p>学園運営の充実に向けた取組</p> <p>(1) 自己点検・評価活動の実質化</p> <p>(2) 大学運営体制の整備</p> <p>(3) 社会的要請の達成</p> <p>(4) 施設・環境の整備</p>
<p>評価点</p> <p>(5段階: 5が最高 点、1が最 低点)</p>	<p>5 . ④ . 3 . 2 . 1</p>
評価概評	<p>(1) 自己点検・評価活動の実質化については、内部質保証システムに基づく運用が具体的に進められ、大学基準協会より評価されており、継続的な取組みを期待する。</p> <p>(2) 大学運営体制の整備については、内部質保証システムの運用が具体的に運用されている事に加え学長がよりリーダーシップを発揮し、評価指標をより明確にした運用体制を確立すること期待する。</p> <p>(3) 社会的要請の達成については、労基違反について外部へ情報公開されている事に加え、勤怠管理システム導入によるや、労働時間制度の見直しなどを進めていることは評価できる。ハラスメント研修や、コンプライアンス研修については参加率が向上しており継続的に進めてもらいたい。</p> <p>(4) 施設・環境の整備については、計画通りに進められており評価できる。</p> <p>内部質保証システムに基づく内部保証推進委員会の取組みが評価を得ており、今後ますます客観性や透明性をもった学園運営がされていくことを期待する。</p>

- ・各評価項目の取組みについて、取組みの状況、結果、課題等を客観的に評価してください。
- ・評価項目は5段階評価点と評価の概評を記載願います。